

やっぱり！すごい！

授業を周ると「校長がまたきた」「暇なのですか」と皆さんから、「ちゃんとやってるか」「寂しいのだよ」と返しながらコミュニケーション。そんな中、ある先生は、「校長が皆のことが心配だから見に来てくれたよ」、違うクラスでは「校長先生もこんな経験ありますよね」と参加を促してくれるなど、**先生の対応力にびっくり**。



しかし、一つ心配なことがあります。それは、最近、皆さんに**「頑張れ！」と声をかけることが多くなっている**ことです。

授業に「集中できない」「つまらない」「分からない」のスタートはどこなのでしょう。それは、**決められた時間・場所に、約束の道具をそろえて、先生の話を聞くという約束が守れないこと**だと思います。高校生だから自己責任だとも言えますが、荒工の先生方は**「あきらめさせない指導」を徹底**します。だから、授業をしっかりと受けさせる指導は決して手をゆるめることはありません。

先日、授業に参加しない、やろうとしない生徒に対して、先生が激烈に指導する場面を見ました。正面に向き合った先生の真剣な眼差しは「勝負師」の目をしていました。**「ここでしっかりと指導しなければこの生徒のためにならない。」**そんな覚悟を感じました。後で先生と話をすると「彼の心にはなかなか刺さりません」と吐露、**「いいえ、他の生徒の心には確実に刺さっています。」**「また、**彼も真剣な先生の言葉、眼差しから時間がかかっても必ず変化します。**」と感じたこととともに、「先生、本当に指導ありがとうございます。」とお礼を伝えました。先生方は「諦めることなく」**皆さんを指導し続けます**。だから、荒工生でいる限りは、先生方の「あきらめさせない指導」を拒否することはできません。

皆さんはどう応えますか。3年生は残り半年、2年生は1年半、1年生は2年半。荒工の先生方のあたたかい手に守ってもらえる期間です・・・頑張れ！

ぶらり、あらこう散歩

【全日】9月18日(日)台風14号の影響で土砂降りの雨の中、ラグビー部の試合の応援に行ってきました。実力差のある相手に悔しい結果となりましたが、改めて**スポーツは良い**と思いました。**指導者や仲間と出会い、強い相手と対峙し**



**自分を見つめなおし、新たなチャレンジがスタート**。多くの成長が期待できます。**スポーツに限らず「得意」なことを見つけ、努力をすると世界が広がります**。

【定時】授業後の部活動は10時を過ぎてしまうこともあり、先生が終電を逃してしまうこともあります。それでも先生方は、部活指導を大切にしています。なぜなら、**活動を通して荒工生としての意識を強く持たせたり、得意なことに気付かせたりすることができるからです**。バスケ部、バドミントン部、柔道部などには学年を越えた皆さんの居場所があります。面倒くさいと思う時があったら、先生はどう思っているか考えてみてくださいね。**きっと皆さんを大切にしている姿に気が付くはず**です。守られているぞ！荒工生！